

平成 19 年 11 月 1 日

各 位

東京都渋谷区渋谷二丁目 15 番 1 号
会社名 株式会社アスキーソリューションズ
代表者名 代表取締役社長 田北幸治
(コード 3801・ヘラクレス)
問合せ先 取締役執行役員 雨宮 哲
管理本部長
(電話 : 03-4524-6015)

第三者割当により発行される株式の募集及び主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ

当社は、平成 19 年 11 月 1 日開催の取締役会において、下記のとおりオリックス株式会社に対する第三者割当により発行される株式の募集を行うことについて決議いたしましたので、お知らせいたします。また、当該第三者割当増資により、当社の主要株主である筆頭株主の異動が見込まれますので、併せてお知らせいたします。

記

1. 第三者割当により発行される株式の募集の目的

当社は、前事業年度において組込系の大型受託案件が結果として売上計上出来なかったこと等により大きな損失を計上し、財務基盤の強化が必要な状況が続いておりましたが、先ず自己資本強化策第一弾として当社役職員を対象とした第三者割当増資を実施いたしました。しかしながら、現在当社が手がける、ネットビジネス事業、エンベデッドシステム事業、ビジネスソリューション事業の3事業をバランスよくビジネスの強化を図るためにはもう一段の財務強化策、あるいは営業基盤の強化が急務となっております。

このような状況の下、当社が目指す事業を拡大及び新たな事業展開を進めるに当たっては新たな研究開発資金、事業運営資金を確保し、磐石な財務基盤と営業基盤を確立することが必要との判断により、新株式発行を決定することと致しました。

当社は、日本の IT 企業の草分け的存在であり、常に業界の先駆的な存在であった株式会社アスキーより分離独立し、営業開始以来、先進技術をもって顧客企業の価値向上を支援してまいりました。一方、新株式の割当先であるオリックス株式会社は、革新的な金融商品・サービスを法人及び個人に提供し、1964 年の創業以来、金融市場をリードし続けています。同社の事業分野である金融市場では、グローバル化とそれを支援する IT 化が目覚ましいスピードで進展し、同社は、米国、欧州、中近東など、25 カ国・地域に進出し、多彩な事業活動を展開しています。当社と割当先であるオリックス社は、IT と金融という異なる分野ではあるものの、それぞれの分野で新たな事業を創造し、社会に貢献してきたという意味では、共通の歴史・DNA を有しております。本割当により、それぞれ単独では得られなかったアセット、リソース、ノウハウが補完され、新たな付加価値の創出と顧客サービスの拡大がもたらされ、更に大きな飛躍を遂げることができるものと考えております。なかでも、平成 19 年 11 月 1 日に同社のグループ企業となる株式会社インターネット総合研究所との協業の可能性は極めて高いものと考えております。

以上の考え方にに基づき、オリックス株式会社が当社に資本参加し、同社、及び同社のグループ企業との間で業務提携を行うことは、当社、並びに同社企業グループの企業価値の向上に資するものであると考え、双方の既存株主、顧客、役職員等ステークスホルダーにとって価値ある選択であると考えます。

なお、本日付でオリックス株式会社による当社株式の公開買付が公表されており、本日付の「当社株式に対する公開買付に関する意見表明のお知らせ」に記載のとおり、当社はかかる公開買付に

賛同の意を表明しております。かかる公開買付が予定どおり完了した場合には、第三者割当増資による新株式の取得とあわせて、当社はオリックス株式会社の連結子会社となる見込であります。

今回の増資では事業上のシナジーが見込める外部のパートナーからの出資を仰ぎ、更なる資本増強と加えて、オリックスグループの一員となることにより、ビジネス領域が広がり、営業基盤の拡大に寄与するものと考えております。

2. 調達する資金の額及び用途

(1) 調達する資金の額（差引手取概算額）

248,040,000 円

(2) 調達する資金の具体的な用途

当該第三者割当による資金の用途につきましては、新株発行価格の総額 250 百万円から発行諸費用の概算額 2 百万円を差し引いた 248 百万円を、研究開発及び主として電子機器類及びそれらに内蔵される組込システム開発事業における先行手配費用等、生産に関する投資に利用するとともに、財務的信用力強化のために運転資金へ充当する予定であります。

(3) 調達する資金の支出予定時期

平成 19 年 12 月

(4) 調達する資金用途の合理性に関する考え方

事業規模が拡大する中で、協業先との連携強化拡大等の必要性から、事業遂行上の必要運転資金は増加傾向にあり、拡大する事業をスムーズに展開する上で必要不可欠なものと考えております。

3. 最近 3 年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況

(1) 最近 3 年間の業績（単位：百万円）

決 算 期	平成 17 年 3 月期	平成 18 年 3 月期	平成 19 年 3 月期
売 上 高	2,028	2,222	2,397
営 業 利 益	122	168	441
経 常 利 益	121	154	462
当 期 純 利 益	122	151	744
1 株 当 た り 当 期 純 利 益 (円)	12,180.11	14,986.31	62,679.67
1 株 当 た り 配 当 金 (円)	-	-	-
1 株 当 た り 純 資 産 (円)	46,138.95	61,016.13	32,031.05

(2) 現時点における発行済株式数及び潜在株式数の状況

種 類	株 式 数	発行済株式数に対する比率
発 行 済 株 式 数	14,726 株	100.00%
現時点の転換価額（行使価額） における潜在株式数	325 株	2.21%
下限値の転換価額（行使価額） における潜在株式数	-	-
上限値の転換価額（行使価額） における潜在株式数	-	-

(3) 今回のエクイティ・ファイナンスの状況

今回の増資による発行済株式総数の推移

現在の発行済株式総数 （現在の資本金）	14,726 株 587,550,400 円
増資による増加株式数 （増加資本金）	4,700 株 125,020,000 円

増資後発行済株式総数
(増資後資本金)

19,426 株
712,570,400 円

(4) 最近3年間に行われたエクイティ・ファイナンスの状況

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成16年10月1日 (注)1	16	9,242	-	304,200	800	39,973
平成18年4月5日 (注)2	1,500	11,588	191,250	495,450	291,750	331,723
平成18年4月6日～平成19年 3月31日 (注)3	488	12,076	15,250	510,700	15,250	346,973
平成19年8月27日 (注)4	2,650	14,726	76,850	587,550	76,850	423,823

(注)1. 合併

平成16年10月1日付インターネットテクノロジー株式会社との合併(合併比率1:21)に伴い株式を発行したものです。

2. 有償一般募集(ブックビルディング方式による募集)による増加であります。

発行価格 322,000 円

資本組入額 127,500 円

払込金総額 483,000 千円

当初の資金用途: 借入金返済及び設備投資

支出予定時期: 平成18年4月～平成18年12月

現時点における充当状況: 充当済み

3. 新株予約権の行使による増加であります。

発行価格 62,500 円

資本組入額 31,250 円

払込金総額 30,500 千円

当初の資金用途: 一般運転資金

支出予定時期: 平成18年4月～平成19年3月

現時点における充当状況: 充当済み

4. 第三者割当による増加であります。

発行価格 58,000 円

資本組入額 29,000 円

払込金総額 153,700 千円

当初の資金用途: 一般運転資金

支出予定時期: 平成19年9月

現時点における充当状況: 充当済み

(5) 過去3決算期間および直近の株価推移等

	平成17年 3月期	平成18年 3月期	平成19年 3月期	平成20年 3月期
始値	- 円	- 円	1,880,000 円	193,000 円
高値	- 円	- 円	1,990,000 円	193,000 円
安値	- 円	- 円	151,000 円	41,000 円
終値	- 円	- 円	188,000 円	63,000 円
株価収益率	- 倍	- 倍	- 倍	- 倍

(注)1. 平成20年3月期の株価につきましては、平成19年10月31日現在で記載しております。

2. 株価収益率については、平成 19 年 3 月期については損失を計上しており、平成 20 年 3 月期については、未確定のため記載しておりません。
3. 当社株式は、平成 18 年 4 月 6 日付で、大阪証券取引所ニッポン・ニューマーケット - 「ヘラクレス」市場に上場しておりますので、それ以前の株価については該当事項はありません。

4. 増資後の大株主構成等

順位	募集前(潜在株式未反映)		募集後(潜在株式未反映)	
1	田北 幸治	25.66%	オリックス株式会社	24.19%
2	株式会社メディアリーヴス	13.20%	田北 幸治	19.45%
3	大阪証券金融株式会社	1.68%	株式会社メディアリーヴス	10.01%
4	山崎 宏介	1.49%	大阪証券金融株式会社	1.27%
5	山本 裕治	1.24%	山崎 宏介	1.13%

上記募集前の大株主構成等は、平成 19 年 9 月 30 日現在の株主名簿によっております。また、募集後の大株主構成等は、平成 19 年 9 月 30 日現在の株主名簿を基準に、今回の第三者割当増資による新株式発行で増加する株式数を加味したものであります。

また、これにより主要株主である筆頭株主の異動が発生いたします。

5. 業績への影響の見通し

第三者割当増資による当期の業績予想に変更はありませんが、来期以降、募集の目的にも記載のとおり、営業基盤の拡充等により積極的な提案等を行っていくことを考えており、当社の業績向上に資するものと考えております。ただし、現時点において、これらを来期の業績見込数値に織込むことは困難であります。

6. 発行条件等の合理性

(1) 発行額面の算出根拠

平成 19 年 10 月 1 日から平成 19 年 10 月 31 日までの大阪証券取引所における当社普通株式の終値の平均値 56,055 円を参考として 53,200 円（ディスカウント率 5 %、百円未満切り捨て）といたしました。

(2) 発行数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠

今回の第三者割当増資の発行規模は当社発行済株式数の 31.9%であります。現行の時価水準、資金調達額の規模を勘案すれば、合理的な水準であると考えており、当該増資による財務体質の強化、および、割当先のグループ企業となることによる信用力向上は、当社のステークホルダーの利益に資するものと考えております。

7. 割当先の概要

商 業 号	オリックス株式会社
事 業 内 容	法人金融サービス事業、不動産関連ファイナンス事業他
設 立 年 月 日	昭和 39 年 4 月 17 日
本 店 所 在 地	東京都港区
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 藤木 保彦
資 本 金	98,755 百万円
発 行 済 株 式 数	91,518,194 株
純 資 産	1,194,234 百万円（連結）
総 資 産	8,207,187 百万円（連結）
決 算 期	3 月 31 日
従 業 員 数	16,662 名（連結）
主 要 取 引 先	中小企業を中心に約 50 万社

大株主及び持株比率	- 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	8.47%	
	- ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	8.03%	
	- 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	6.04%	
	- ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505103	3.20%	
	- ザチエースマンハッタンバンクエヌエイロンドン	2.94%	
主要取引銀行	株式会社三菱東京UFJ銀行		
上場会社と割当先の関係等	資本関係	オリックス・キャピタル株式会社(オリックス株式会社の特別関係者)が50株保有しております。	
	取引関係	該当事項はありません。	
	人的関係	該当事項はありません。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	
最近3年間の業績			
決算期	平成17年3月期	平成18年3月期	平成19年3月期
売上高(百万円)	912,027	929,882	1,142,553
営業利益(百万円)	130,145	214,957	282,166
税引前当期純利益利益(百万円)	153,535	249,769	316,074
当期純利益(百万円)	91,496	166,388	196,506
1株当たり当期純利益(円)	1,087.82	1,883.89	2,177.10
1株当たり配当金(円)	40.00	90.00	130.00
1株当たり株主資本(円)	8,322.96	10,608.97	13,089.83

(1) 割当先を選定した理由

「1. 第三者割当により発行される株式の募集の目的」に記載いたしました当社の趣旨に御賛意いただける企業であること、当社の事業上シナジーが見込めることを勘案し、割当先を決定いたしました。

(注) 本割当は、日本証券業協会会員である証券会社の斡旋を受けて行われるものではありません。

(2) 割当先の保有方針

安定株主として長期的に保有する考えであり、止むを得ない理由により割当株式の売却を行った場合には、当社へ報告する旨の確約を依頼する予定であります。

8. 株主への利益配分

(1) 利益配当に関する基本方針

当社は、継続的な成長性の確保と強固な財務基盤の確立のための内部留保の充実並びに株主への利益還元が重要課題であると考えており、この二つをバランスよく実現してゆくことを基本方針としております。

(2) 配当決定に当たっての考え方

当面は財務基盤の充実に重点をおき企業体質強化を図り、その後の業績等を勘案しながら早期に剰余金の配当を実施したいと考えております。

(3) 内部留保金の資金使途

今後の事業展開に必要な資金需要に備えるとともに、財務基盤の強化を図ってまいります。

9. 第三者割当増資日程(予定)

平成19年11月1日(木)

新株式発行取締役会決議

有価証券届出書提出(関東財務局)

平成19年11月16日(金)

申込期日

払込期日

資本組入日

以上

(別添)発行要領

(1) 発行新株式数	普通株式	4,700 株
(2) 発行価額	1 株につき	53,200 円
(3) 発行価額の総額		250,040,000 円
(4) 資本組入額		125,020,000 円
		(1 株につき 26,600 円)
(5) 募集又は割当方法	第三者割当による新株式発行	
(6) 申込期日	平成 19 年 11 月 16 日 (金)	
(7) 払込期日	平成 19 年 11 月 16 日 (金)	
(8) 新株券交付日	交付の予定はありません	
(9) 割当先及び割当株式数	オリックス株式会社	4,700 株
(10) 新株式の継続所有等の取決めに関する事項	当社は、新株の割当予定先との間において、新株発行の効力発生日から 2 年間に於いて、割当新株の譲渡を行った場合には、当社へ報告する旨の確約を依頼する予定であります。	

前記各号については、金融商品取引法による届出の効力発生を条件とします。